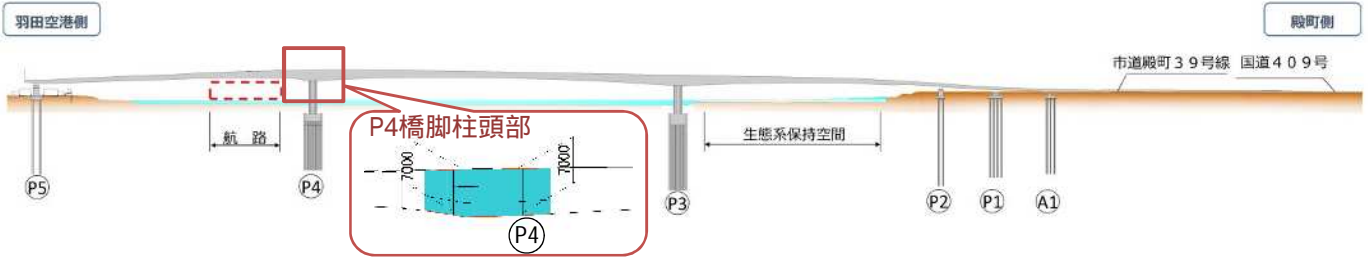


橋梁上部の鋼桁の組み立てを始動

千葉県富津港に鋼桁が到着



関西方面の3工場での橋桁製作も進み、千葉県富津港に地組ヤードを開設し、橋桁の組み立てが始動しました。地組ヤードは約260m×約85mの広大な敷地に大型クレーンを設置し、順々に組み立てを行っていきます。1月から、最初に架設するP4橋脚柱頭部が、船舶により地組ヤードへ運搬され、組み立てを開始しました。



位置図



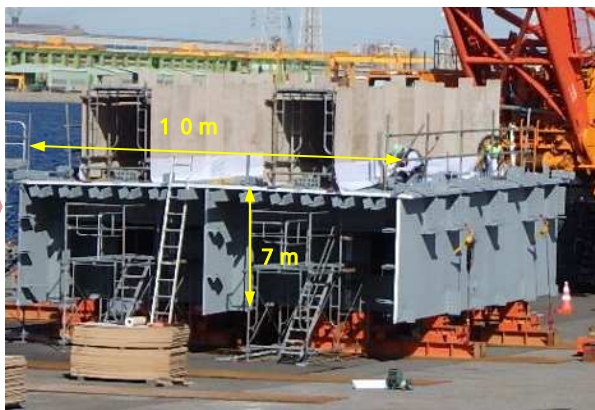
富津港地組ヤード全景



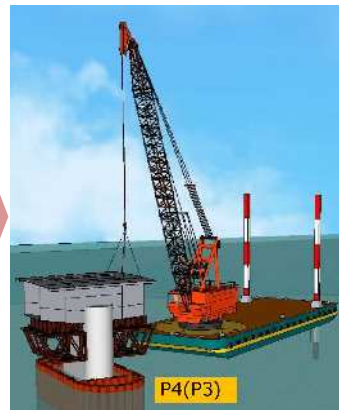
P4橋脚柱頭部の工場における仮組み立て確認



富津港にP4橋脚柱頭部ブロック到着



P4橋脚柱頭部の組み立て状況



現地架設（イメージ）

現場の声

工場製作した橋桁を2019年1月から運搬、組立を開始しました。地組ヤードで7ブロックに区分けして大組を実施して現場まで海上運搬していきます。

現場は750t吊クレーンを使用するなど非常に重く、大きいものを扱いますが、安全作業にて実施していきます。



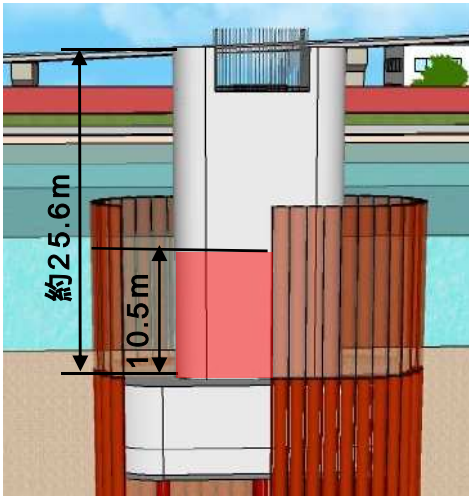
岩崎主任

まもなく橋脚の姿が水面上に！

躯体の構築が進む

【河川部】

P4橋脚は全高約25.6mのうち、4割にあたる10.5mまで構築が進んでいます。4月頃には、多摩川の水面上から橋脚のコンクリートが姿を現す予定です。P3橋脚は掘削、底盤コンクリートの打設が完了し、頂版の鉄筋を組み立てています。



P4橋脚断面図



P4橋脚施工状況



P4橋脚施工状況
(頂版から撮影)

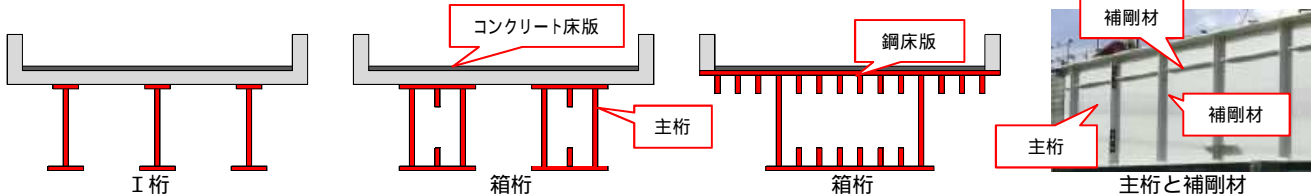
【土木豆知識】 鋼橋の断面構造

鋼橋は、鋼（はがね）と呼ばれる板を組み合わせて製作します。（鋼=鉄にさまざまな化学元素を含ませて熱処理した材料）鋼は引張りや粘りが強く、薄い板で構造を形作ることができ、コンクリートに比べて重量を軽くできることから本橋の様な長大橋に用いられています。また、鋼は加工性に富むため、成形しやすく、豊富なデザインが可能です。

一般的な鋼橋は、I桁（アイげた）橋と箱桁（はこげた）橋に分かれます。

I桁橋はI形断面の主桁で、箱桁橋は箱形断面の主桁で、床版と合わせて鋼橋の断面構造を構成します。

これら主桁は、長く薄い板で構成されるため、補剛材と呼ばれる小型の部材を多く組み合わせることで、抵抗力が大きくなり、より長く、より大きな荷重を支えることができるようになります。さらに、本橋は日本最大級の支間長を有する桁橋であることから、一般的なコンクリート床版を鋼の床版に変えることで軽量化を図った、鋼床版箱桁を採用しています。



【多摩川河口干潟の生き物（ヤマトオサガニ）】

ヤマトオサガニは多摩川河口干潟の代表的な生き物で、触ると綺麗に折りたたむことのできる長い眼と細長い体が特徴のカニです。

干潟に集まるシギ等の鳥たちの餌としても重要な役割を担っています。

冬の間は冬眠して姿を見かけなくなりますが、暖くなるとヨシ原前面に広がる泥干潟では、巣穴から出てきたカニたちが、ハサミを器用に使って泥の中の栄養分をついばむ姿を見ることができます。

人が近づくと一斉に巣穴に逃げ込んでしまうため、じっと身動きせず息をひそめて数分間待つと、安心したカニたちが次々と巣穴からでてきて、再び干潟一面を覆い尽くす光景をみることができます。



お問合せ先

川崎市建設緑政局広域道路整備室
羽田連絡道路建設担当

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-25

電話：044(200)0436

FAX：044(288)1782

http://www.city.kawasaki.jp/530/page/000

0097966.html



五洋・日立造船・不動テトラ・横河・
本間・高田共同企業体（五洋JV）

住所：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3丁目25-24

電話：044(201)9381

FAX：044(201)9382

http://www.poc-site.jp/kb/tonomachi/